

# ◆2026年度 中学入試 第2回【国語】 正答率・問いのねらい・講評

大問	問	正答率		問いの内容・ねらい	講評
		受験者	合格者		
一	①	85.2%	90.5%	<b>【漢字の書き取り】</b> 小学校6年生までの学習範囲で、基本的な漢字の知識を問う。	⑥「宿舍」の「舎」が書けなかったのが意外。受験者学力と難易度設定との大きな乖離は見られなかった。
	②	85.2%	86.5%		
	③	90.9%	91.4%		
	④	89.9%	89.6%		
	⑤	88.5%	93.2%		
	⑥	70.9%	76.6%		
	⑦	85.0%	86.9%		
	⑧	84.9%	91.9%		
二	問一Ⅰ	63.5%	67.6%	<b>【説明的文章】</b> 自分の言葉のクセや固有性を認識し、それを個性として活かしながら他者の言葉を読むことで言葉を広げていく重要性を説く文章。作者が本文中においてどのような意図で「多様性」、「個性」、「クセ」といった言葉を用いているのかを把握できるかどうかが重要であった。 〔問3〕 論述。筆者が提起している疑問の内容と、筆者の主張との両者を答える問い。	〔問3〕 論述 傍線部に指示語があることから、直前部だけを要素とする解答が散見された。ここまでの段落を俯瞰して筆者の主張をまとめることができるかどうかで、得点がかかれた。 〔問4〕 選択 例えを用いた言い回しに惑わされずに、筆者の主張を的確に理解できているかを問う問題。筆者の主張は一貫しているが、多様な言葉に言い換えられていることで本質が押さえきれず、誤答した人が多かった。
	問一Ⅱ	75.5%	81.1%		
	問一Ⅲ	87.0%	94.1%		
	問二	42.9%	52.7%		
	問三疑問	56.7%	67.6%		
	問三考え	33.6%	39.6%		
	問四(1)	59.4%	73.9%		
	問四(2)	48.9%	59.0%		
	問四(3)	81.6%	88.3%		
	問五(1)	80.0%	90.1%		
	問五(2)	52.4%	64.9%		
問六	81.7%	89.6%			
三	問一	39.4%	43.2%	<b>【文学的文章】</b> 学校に行けなくなった女の子が、負い目を感じながら、両親の話し合いに聞き耳を立てている場面。 両親の心の動きを会話の内容や間から感じ取るとともに、それを受けて動く女の子の心の動きを、心内発話や情景描写から把握する必要がある。 〔問8〕 物語の今後の展開を予感させる情景描写に注目した問い。形式に驚かないで情報を整理して可能性を取捨選択できる思考力を試す。	〔問3〕 論述 「全身が耳になった心地がした」の「心地」が頭の中で「心地よい」という言葉に結びついてしまったのか、明るい心情表現だと捉えた人が予想以上に多く、大きな得点差が生まれた。 〔問6〕 選択 アの「どちらも選べずにいる」という間違いに気づかず、これを正答と決めつけてイ～エを流し読みした人が受験者の3分の1に上った。作問者の狙いどおり。受験生には選択肢アに注意することを勧める。
	問二	75.5%	83.3%		
	問三	58.3%	67.6%		
	問四	75.7%	82.4%		
	問五	60.2%	70.3%		
	問六	52.8%	58.1%		
	問七	61.6%	67.1%		
	問八	65.4%	68.9%		
	問九A	76.1%	81.1%		
	問九B	76.9%	83.3%		
	問九C	70.5%	76.1%		
問九D	74.0%	82.9%			